

令和 6 年度の雪対策に関する取組の検討について

1 除排雪事業の業務体制

R5取組内容

●除雪センター機能の更なる集約と充実

○4 統合地区、9 除雪センターの業務体制を継続（令和 3 年度から継続）

○管理機能や改善要望窓口の集約（除雪センターの役割の見直し）

- ・「主センター」に除排雪計画などの管理機能や市民からの改善要望の窓口を集約
- ・「支所センター」ではパトロールや現地作業などの対応を実施

○パトロール体制の充実による現場機能の強化

- ・各除雪センターに作業後の仕上がりや雪出しなど道路状況の確認を行う職員配置

○支所センターの開設期間の短縮

- ・開設期間を12月1日から排雪完了時期（3月上旬）までに見直し

R5取組結果

○改善要望窓口の集約による要望の処理体制の強化

- ・各地区の受付担当者を主センターに集約
⇒相互協力（受付の人数増）が可能となり路面状況悪化の把握や解消に効果
- ・改善要望窓口の集約に関する市民からの問合せなし

○統合地区内の応援体制の構築と円滑な排雪作業の実施

- ・改善要望窓口の集約や現場機能の強化による道路状況などの情報をもとに除排雪業務の進捗状況を勘案した速やかな応援体制の確立
⇒過去の平均台数を上回る300台以上の排雪ダンプを確保するなど
過去最大の体制で作業を実施

○地区統合の継続や除雪センター機能の集約と充実による体制強化

- ・除排雪作業の前倒しやザクザク対策など機動的な対応
⇒バス路線の排雪を優先しながら幹線道路の1回目の排雪を年内に完了
⇒生活道路1回目の排雪について、年明け後の排雪の前倒しや円滑な応援作業により例年より10日間早い1月31日までに完了

今後の方向性

◎持続可能な除排雪体制の構築

人的リソースの有効活用と合理的な除雪センター運営に向けた取組を推進

○除雪センター機能の更なる集約と充実

- ・主センターへの管理機能の更なる集約について検討
- ・R6年度は一部地区の除雪センターの集約（試行）について検討
- ・改善要望への対応力向上のためのデジタルツールの活用を検討

○ICTの活用による除雪DXの推進

- ・除雪作業の省力化や効率化による生産性の向上
- ・除排雪作業の安全性の向上による働きやすい環境づくり

2 路面管理手法の試行

現状

●車両走行により踏み固められた30cm程度の圧雪状態で管理

- メリット ・道路脇に積む雪の量を抑え、幅員を広く保ち、排雪量が抑制できる
- デメリット ・近年の季節外れの降雨や暖気によりザクザク路面が発生しやすい
- ・暖気が続くなど気象状況により路面状況の改善に時間を要する

生活道路の排雪強化前の「令和2年度まで」
⇒2月上旬から3月にかけて改善要望が集中

試行内容

●圧雪を薄く管理する取組を試行的に実施（令和3年度から継続）

- ・4統合地区毎に1か所のモデル地区を選定（地区内は圧雪厚10～15cmで管理）
- ・ザクザク路面の抑制効果、道路脇の雪山や幅員の状況について確認
- 地区内・外で比較し、シーズンを通じて効果や課題を検証

○想定されるメリット

- ・ザクザク路面による影響を低下
- ・走行路面の平坦性が保たれる

○想定されるデメリット

- ・幅員の減少、雪山の増大

排雪の必要性が早まる
⇒排雪量や排雪回数の増加



試行結果

●過年度の取組（令和3・4年度）

- ・厳寒期における暖気の影響が少なかったこと、除雪地区の統合や令和3年度からの生活道路の排雪強化の取組により排雪作業がスムーズに進行
- ⇒モデル地区内・外での圧雪厚などに差が少なく道路状況を比較・確認が困難

●令和5年度の取組（累積降雪量：485cm※過去10年平均489cm）

○圧雪管理の状況（試行期間1/1～3/20，週1回頻度で計測，4地区平均値）

- ・試行期間中の圧雪厚：モデル地区内と地区外ともに平均10cm以下
- ・うち1月末以降（生活道路の1回目の排雪完了後）：平均5cm以下
- ・モデル地区内と地区外ともに圧雪厚は薄く管理され路面状況に大きな差なし
- ⇒圧雪を薄く管理できる期間が長期化

○改善要望件数の割合（全体に占める2月から3月の割合）

- ・生活道路の排雪強化前（H30～R2）：平均約53%
- ・生活道路の排雪強化後（R3～R5）：平均約29%
- ・改善要望の割合が2割以上減少

⇒2月以降のザクザク対応が局所的，広範囲に至らず道路状況の悪化を抑制

生活道路の排雪強化
⇒圧雪路面の管理
に良い影響

今後の方向性

「生活道路の排雪強化の効果」や
「3か年の試行結果」などの検証を踏まえ
⇒本市の実態に即した
適切な路面管理手法の方向性を整理

排雪までの適切な路面管理

- ・排雪工程と圧雪状況を踏まえた管理
- ・ザクザク路面発生に繋がる大雪対応
- ・暖気時の計画的な雪割対応

- ・雪割体制を確保する基準等の整理
- ・市民への情報共有等